

プロジェクト研究 (平成18年度~19年度)

小・中学校における特別支援教育への理解と対応の充実に向けた総合的研究

/// プロジェクト研究 /// (平成18年度~19年度)

小・中学校における 特別支援教育への理解と対応の充実に向けた総合的研究

研究のミッション・ビジョン

この研究の背景と目的

研究のアウトプット

研究のキーコンセプト

研究対象、研究課題

管本 健
西牧 謙吾

藤井 茂樹
笹森 洋樹
牧野 泰美

大内 進
瀧川 直秀
小国 俊樹
菅嶋 茂登

植木 田潤
亀野 節子
伊藤 由美
横尾 俊

松村 勘由
徳永 亜希雄

太田 容次
渡邊 正裕

特別支援教育コーディネーターに関する実践的研究

個別の教育支援計画に関する実践的研究

盲・聾・養護学校のセンター的機能に関する研究

研究のミッション・ビジョン

小・中学校の特別支援教育の充実に寄与する

ミッション

小・中学校の児童生徒の支援を充実させるために

ビジョン

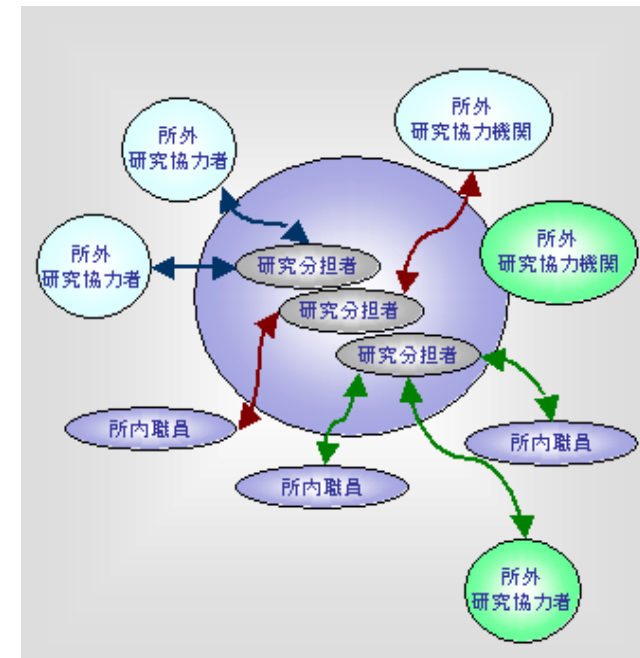
- ・過去・現在の研究活動の成果・資産を集約し、
- ・全研究所員の知見と叡智を集め、
- ・関係者・機関との連携・協力を得て、
- ・情報を共有し、時間と資源を効果的に活用して、

アウトプット

支援ツールを開発し、

アウトカム

小・中学校の特別支援教育の充実に寄与する。



この研究は、研究所がこれまでに取り組んだ研究活動の成果と研究所職員の叡智を集め、関係者・機関の協力を得て、それらの知見を総合して、支援ツールとしてまとめ、各小・中学校の特別支援教育の充実に寄与することを目的・使命として実施するものである。

研究の基本方針

- 研究所の過去、現在の研究成果・資産を集約すること
- 研究所の全職員の連携と協働のを進めること
- 関係者・関係機関との連携・協力を進めること
- 情報を共有し、時間と資源を効果的に活用すること

研究のミッション・ビジョン

小・中学校の特別支援教育の充実に寄与する

国の特別支援教育政策の推進と伸展

新障害者基本計画(教育・育成・福祉分野)(H.15-24)

今後の特別支援教育の在り方について(最終報告) 中央教育審議会(答申)

発達障害者支援法 障害者基本法 学校教育法・改正

障害のある子どもの教育は、特殊教育から特別支援教育への転換が進められている。その理念については「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」において、制度面では、中央教育審議会答申「特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申)」にてその考え方の方向性が示された。

障害者施策は、新障害者基本計画、新障害者プランの策定、障害者基本法の改正、発達障害者支援法の制定等種々の政策と法の整備等が進められている。

これまでの研究活動の経過と成果

特別支援教育への対応

個別の教育支援計画に関する実際研究

小・中学校の校内支援体制

盲・聾・養護学校のセンター的機能に関する研究

LD、ADHD等の支援

特別支援教育コーディネーターに関する実際研究

交流及び共同学習

研究所では、プロジェクト研究、課題別研究等を通して、国の政策課題等に対応した研究活動を行ってきた。特別支援教育推進政策に対応して、盲・聾・養護学校のセンター的機能に関する研究、特別支援教育コーディネーターに関する研究、個別の教育支援計画に関する研究、LD・ADHD等に関する研究、種々の課題別研究等各種研究活動を行い成果を上げてきた。

小・中学校の特別支援教育の取り組みの現状

校内委員会の設置や実態把握、コーディネーターの指名など、特別支援教育に向けた体制は整いつつある。

個別の指導計画、個別の教育支援計画、専門家チームの活用など具体的な取り組みについて不十分である。

校内委員会の設置や実態把握、コーディネーターの指名などについては、平成17年度末までに8割以上の小・中学校で実施される見込みであり、特別支援教育に向けた体制は整いつつあるが、個別の指導計画、個別の教育支援計画、巡回指導員の活用、専門家チームの活用など具体的な取り組みについては、3割から5割程度に留まっている。

小・中学校の特別支援教育の充実に課題と研究の目的

個々の機能の充実

相互の機能の有機的連結を推進

小・中学校における特別支援教育体制の実質的な整備・充実に進め、問題の解決を図るための総合的な支援ツールの開発を目的とする。

これまでの本研究所での研究成果を踏まえて、小・中学校における特別支援教育体制の実質的な整備・充実に進め、問題の解決を図るための総合的な支援ツールの開発を目的とする。

研究のアウトプット

総合的な支援ツールの開発

特別支援教育へのこれまでの取り組み

研究所の研究活動

盲・聾・養護学校のセンター的機能に関する研究
特別支援教育コーディネーターに関する実際研究
個別の教育支援計画に関する実際研究

小・中学校の校内支援体制
LD、ADHD等の支援
交流及び共同学習

各都道府県の事業と活動

コーディネーターの指名
校内委員会の設置
巡回相談員・専門家チームの活用
個別の教育支援計画の策定

盲・聾・養護学校のセンター的機能
個別の指導計画
コーディネーター養成研修

小・中学校の特別支援教育の充実に課題

個々の機能の充実

相互の機能の有機的連結を推進

総合的な支援ツールの開発

小・中学校での理解の推進と対応の充実

盲・聾・養護学校のセンター的機能の充実
教育委員会の機能の充実

研究活動のアウトプット

小・中学校の特別支援教育の充実にための総合的な支援ツールの開発

小・中学校 盲・聾・養護学校 教育委員会

ガイドブック Video教材 E-learning

研究のアウトカム

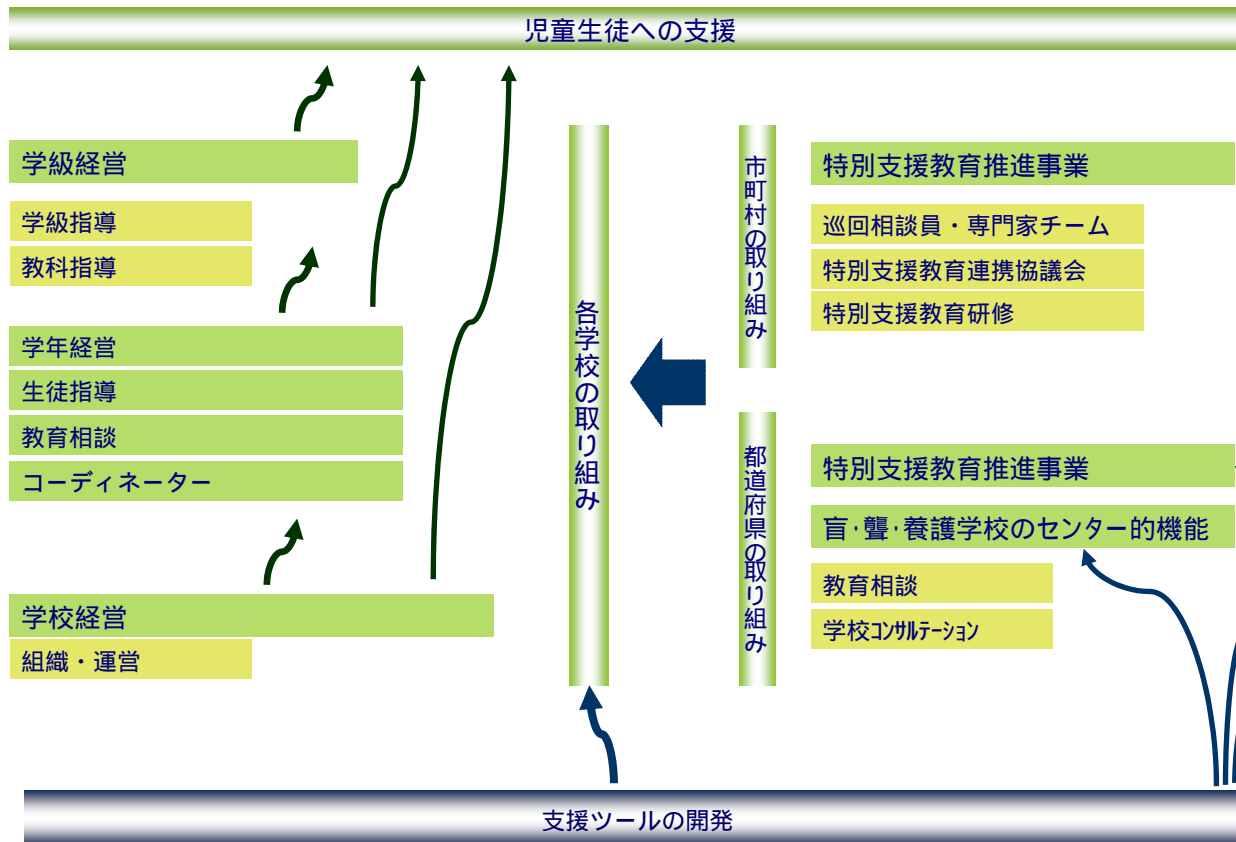
小・中学校の児童生徒への支援の充実

盲・聾・養護学校のセンター的機能の充実 教育委員会の支援の充実

小・中学校での理解の推進と対応の充実 地域・保護者の支援の充実

研究のキーコンセプト

児童生徒への支援



小・中学校に在籍する児童生徒への具体的な支援が実現するための支援ツールの開発がこの研究の目的である。

この研究では、小・中学校で直接児童生徒への指導支援を担う学級担任や各教科の担当教員への支援を視野に入れながら、各担任や担当教員が児童生徒へ対する指導や支援の手がかりとなるノウハウと学校や地域の支援の仕組みについての知見を提供することを考えている。

具体的には、

学級担任や各教科の担当教員が学級経営、授業の展開、学級指導等のノウハウ、それらを支える学年経営、生徒指導、教育相談、特別支援教育コーディネーターの役割など学校の組織や運営に関する知見など学校での取り組みに資する事項の整理と開発

各学校を支援する教育委員会の取り組み、盲・聾・養護学校のセンター的機能に関する知見の整理・開発

それらを整理統合した総合的な支援ツールの開発を行うこととする。

研究対象・研究課題

これまでの研究成果の整理と新たな課題への取り組み

